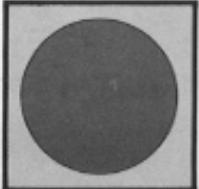


●オートベース・コード早見表

ベース・バリエーションセレクターズ	セレクトされる音	リズム・パターン & コードの種類
 1·5	<p>押えたコードの 1 度と 5 度の音が抽出されます。</p>	<p>ジャズ・ロック ● JAZZ ROCK (但しジャズ・ロックのみ 1 度だけ) マーチ ● MARCH スイング ● SWING ワルツ ● WALTZ ボサノバ ● BOSSA NOVA スローロック ● SLOW ROCK ルンバ ● RHUMBA サンバ ● SAMBA</p> <p>使えるコードは全ての音を根音とした メジャーコード マイナーコード セブンスコード</p>
 1·3·5	<p>押えたコードの 1 度と 3 度と 5 度の音が抽出されます。</p>	<p>スローロック ● SLOW ROCK ルンバ ● RHUMBA サンバ ● SAMBA</p> <p>使えるコードは全ての音を根音とした メジャーコード マイナーコード セブンスコード</p>
 1·7·5	<p>押えたコードの 1 度と 5 度と 7 度の音が抽出されます。</p> <p>※ 但し、このようにセットしてもセブンスコードが押さえられない場合は、1・3・5 度の音もできます。</p> <p>※ セブンスコードではしばしば第 5 音を省略することがあります、その時でも 1・5・7 度の音ができます。</p>	<p>スローロック ● SLOW ROCK ルンバ ● RHUMBA サンバ ● SAMBA</p> <p>使えるコードは全ての音を根音とした メジャーコード マイナーコード セブンスコード</p>



●さあ、演奏してみましょう。《演奏はこうして》

●オートリズムとオート・ベース／コードのリズムパターンの関係は下のようになります。

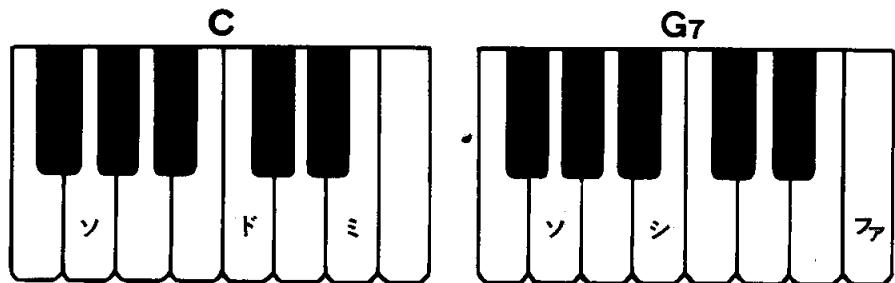
●オートベース／コードのベース及び下鍵盤の伴奏を譜で表わすと次のようにになります。

	下鍵盤パターン	ベースパターン	WAL-Z	SLOWROCK	JAZZROCK	BOSSANOVA	RHUMBA	SAMBA
MARCH 1-3	C F G7 C							
SWING 1-2	C F G7 C							
WAL-Z 1-3	C C F F							
SLOWROCK 1-5	G7 G7 C C							
JAZZROCK 1-3	C F G7 C							
BOSSANOVA 1-3	C F G7 C							
RHUMBA 1-3-1	C F G7 C							
SAMBA 1-7-1	C F G7 C							

- | | |
|---|--|
| 1 | オート・ベース／コードレバーを手前に引きます。 |
| 2 | 上鍵盤、下鍵盤、ペダル鍵盤の各トーンレバーをセットします。
(特に下鍵盤、ペダル鍵盤のトーンレバーを入れないとオート・ベース／コードは作動しませんからご注意ください。) |
| 3 | オートリズムセレクターズの中からお好みのリズムを選んでセットします。 |
| 4 | リズムのボリューム、テンポを調節します。 |
| 5 | ベースバリエーションボタンの中からベースパターンをセットします。 |
| 6 | リズムを先行させたい場合、スタートスイッチを入れれば先にリズムだけがスタートします。次に下鍵盤を押えた瞬間、オートベース／コードが作動します。途中で左手のコードを離してもリズムはそのまままで、オート・ベース／コードだけがストップします。 |
| 7 | シンクロ・スタートスイッチを使った場合は、下鍵盤を離すとオート・リズム及びオート・ベース／コードと共にストップします。
再び触れるとオート・リズム及びオート・ベース／コードと共に小節の頭から再スタートします。 |

●こんな場合は特にご注意ください

	A	オート・ベース／コードレバーがOFFのとき。
	B	オート・リズムが作動していないとき。
	C	下鍵盤及びペダル鍵盤のトーンレバーがセットされていないとき。
1 次の場合 オート・ベース／コード は作動しません。	D	下鍵盤でコードが押えられていないとき。 ※ オート・ベース／コードレバーがONで各トーンレバーがセットされていてもオートリズムがセットされていないときは勿論オート・ベース／コードの音は出ませんし、エレクトーンの下鍵盤及びペダル鍵盤の音も全く出ません。
2 リズムを組み合わせる 場合		オート・ベース／コードをお使いになる場合にもリズムの組み合せは可能です。 しかし、下鍵盤、ベース音共に各リズムのパターンが重なって出てきます。
3 シンクロスタートスイッ チでスタートした場合		シククロスタート・スイッチでスタートした場合、コードチェンジの際、手を離すとリズム及びオート・ベース／コードとも同時にストップします。なるべくその時間を短くするか、うまく指を離さずスライドさせるかして演奏が途中で中断することがないように練習しましょう。
4 スタートスイッチを使 った場合		スタート・スイッチを使った場合は、左手を離してもオートリズムはストップしません。従ってコードチェンジにまごついていますとリズムだけは先に行ってしまいます。 その際は、オートリズムをよく聞き小節の頭を確認できたところで再スタートしましょう。
5 オート・ベース／コード を使って演奏しない場 合		オート・ベース／コードを使って演奏しない時は、必ずオート・ベース／コードレバーをOFFにしておきましょう。



下鍵盤の和音は上のようにおさえましょう
すばやくコードを切りかえましょう

●簡単な曲で練習してみましょう

「ちようちよう」をサンバで演奏してみた場合は次のようになります。

ベースバリエーション

SAMBA 1・3・5

中ぐらいのはやさで

〔 **ちようちよう** 〕
 Kinderlied (ドイツ曲)



U.M. : Flute 8' 3
 : Flute 4' 2
 L.M. : Wood 8' 3
 Ped. : Bass 16' 2
 Vib. : 1~2

Section 5

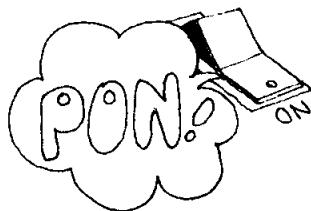
Ⓐこんな場合は故障ではありません。Ⓑ完全な保証とサービスシステム。Ⓒこんなサービスの依頼をなさるとお得です。

Ⓐ：こんな場合は故障ではありません
下記のような、故障でない現象でサービスを依頼された場合には、保証期間中であっても実費料金をいただきます。

原因不明の場合及びご不審な点がございましたら、お求めの楽器店あるいは日本楽器各支店エレクトーン技術係までご相談ください。

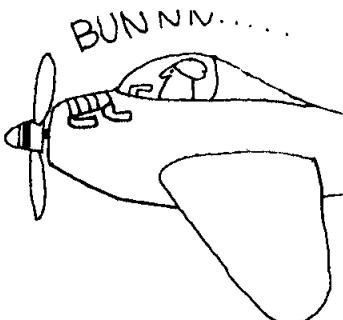
●スイッチを入れた瞬間、ポンと音がする

メインアンプ内部に電気が流れたため、エレクトーンが作動する証拠です。安心してお使いください。



●ヘッドホーンのブーンという電気の雑音(ハム)が気になる

本体のスピーカーで音を出している時には、あまり気になりませんが、ヘッドホーンを使って練習する際、ブーンという電気のうなり雑音(ハム)が気になることがあります。このような時は、エレクトーンの電源プラグをコンセントへ逆に差し込んでみてください。雑音(ハム)が防止できます。



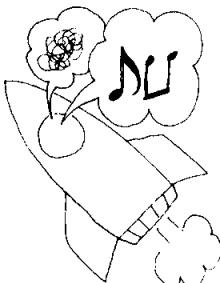
●16'、8'、4'それぞれのカプラーによって発音位置が異なる

実用上支障のない範囲に精密調整しております。一般に多くの音栓を持つオルガン、パイプオルガン、エレクトーンでは同時発音が難しく、同時発音しないのが実状です。

●ペダル鍵盤は同時に2音を押しても1音しか出ない

ペダルサステインをかけた時に、前の音と後の音が混ざり、きたない音になります。

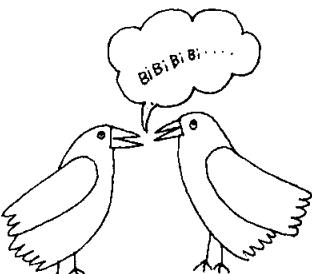
これを澄んだきれいな音とするため前の音が鍵盤を押した瞬間に消えるようなしきみになっております。同時に2音押すと高音の方のみ(高音優先)音が出ます。



●音が割れる(共鳴する、またはビビル)

エレクトーンの音は持続音ですから周囲の戸棚、窓ガラスその他の器物に共鳴することが多くあります。

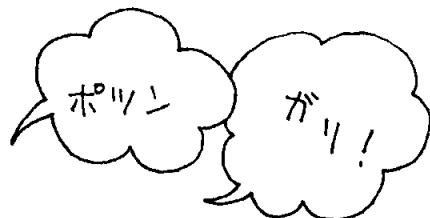
音量を小さくするかまたは共鳴物を取り除けば防止できます。



●時々雑音が入る(ガリッとかボツンという雑音)

原因は家庭の電気冷蔵庫、洗濯機、電気コタツ、揚水ポンプなどの電気器具の電源入、切り時、あるいは市街地でのネオンサインの故障や電気ドリル等から誘導して起こる場合が多くあります。

電気製品が原因の場合は、原因と思われる機器からできるだけ遠くのコンセントをお使いください。気にならなければ別にエレクトーンには支障がありませんのでそのままお使いください。またネオン、蛍光灯などの故障で発生している場合は修理すればすぐ直ります。



●ペダル鍵盤ではピッチが高く上鍵盤高音部では低く感じる

エレクトーンは実音で調律してあるからです。特にピアノと比較した場合に感じますが、心配ありません。

●トーンレバーによって、鍵盤位置による音量のバラツキがある

一般に電子楽器では、音色を変えるという本質的な要素を持つため、音色による各鍵盤の音量バラツキをなくすことが非常に難しいわけです。エレクトーンではどの音色に変えても演奏上問題のないように設計、調整されています。

しかし、音の強さや音色は、エレクトーンの設置場所の状態や聞く位置などによって大きく異なることがあります。

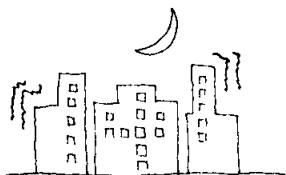
●ラジオやテレビ等の電波が入るときがある

近くに大電力の放送局やアマチュアの無線局がある場合にこのようなことが起きます。

●電源を入れたまま振動やショックを与えると雑音が出る

これは内蔵のリバーブレーション装置に振動が伝わって起こるもので、このリバーブレーション装置は柔らかいスピニングを使用しておりますので使用中は大きな振動やショックを与えないようにしてください。

またエレクトーン設置にあたってはぐらつかないように設置してください。万一移動する必要が生じましたら、電源スイッチを切るか、リバーブレバーを左に回して、リバーブがかからないようにしてから移動してください。



●上鍵盤16'および下鍵盤のトーンレバーを入れて弾くと、音が出る時にブツッ(ポツッ)という雑音が入る

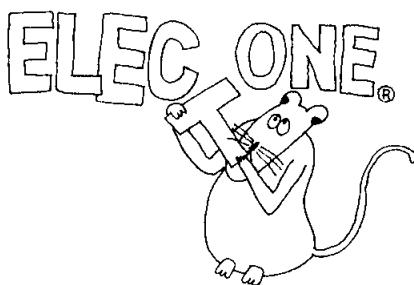
これは、音の信号を直接鍵盤の下にあるスイッチで入れ切りするときに発生するもので、専門的にはクリックと呼んでおります。

このクリックは弾く曲により、たとえばスローテンポでムーディーな曲では悪者扱いされますが、パンチの効いた速い曲では非常に貴重で、なくてはならない存在となります。本質的にこのクリニックをなくすことができませんが、エレクトーンBK-5型では発音時の不快な雑音をヤマハが開発した特殊スイッチにより、演奏上支障のない程度に防止しております。

●エレクトーンに鼠が入って故障を起こした場合

エレクトーンの内部に鼠が入り束縛その他を切ったりすることにより故障が発生した場合には、保証期間中でもサービス料金を頂戴いたします。

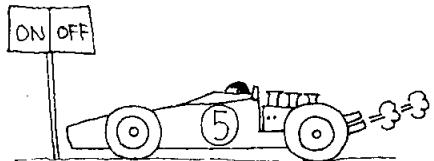
鼠の入るおそれのあるところは、お求めの楽器店あるいは日本楽器各支店エレクトーン技術係までご相談ください。実費にて防鼠処置をさせていただきます。



●リズムスタートスイッチ(シンクロスタート)をONにしてもリズムが働かない

フットスイッチOFFで曲を終わった場合は必ず、曲の弾き始めに使った《スタートスイッチ》又は《シンクロスタートスイッチ》を一旦OFFに戻してから次の曲に移るようにしてください。

フットスイッチOFFで曲を終わった場合は、《スタートスイッチ》《シンクロスタートスイッチ》が最初スタートした時のままONになっていても働きません。



●オート・ベース/コードレバーをONにしてもオート・ベースが作動しない
オート・ベース/コードはオート・リズム機構と連動していますから、オート・リズムが作動していないときはオート・ベース/コードも作動しません。

また、オート・リズム、オート・ベース/コード共ONのときでも下鍵盤及びペダル鍵盤のトーンレバーがセットされていなければオート・ベース/コードは作動しません。

詳しくはSECTION-4 13頁の「こんな場合は特にご注意ください」の項をご参照ください。

●トレモロまたはコーラスを作動した時に作動音が出る

内部に組み込まれている回転スピーカーが作動して出る回転音ですが回転部分に精密仕上を施し演奏上には支障のない程度の大きさに抑えてあります。

●ヘッドホーンを使うとトレモロ効果がかからない

トレモロ効果は、スピーカーを回転させて“音をふりまき”独特の雰囲気を作り出します。しかし、ヘッドホーンを使った場合はスピーカーへの信号(楽音)が遮断されてしまうために、トレモロ効果のない音になります。



●トレモロタブレット(トレモロ・コーラス)を入れてもトレモロ効果がかからない

トレモロ・コーラスのタブレットを入れただけでは、トレモロスピーカーから音が出てこないためトレモロ効果はかかりません。必ずボイスタブレットと一緒に入れてご使用ください。

B：完全な保証とサービスシステム

●保証

エレクトーンの保証は、保証書によりご購入から満1カ年です。

ただし、現金、ローン、月賦などによる区別は一切いたしません。

また保証は日本国内にてのみ有効といたします。

●保証書

エレクトーンの納入調整サービスの際、納入調整者が保証書内へ必要事項記入のうえ、お客様にお渡し申しあげます。

保証書をお受取りの時は、お客様のご住所、お名前、お買上げ月日、販売店名などを必ずご確認ください。

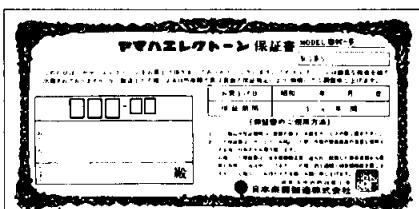
無記名の場合は無効になりますのでくれぐれもご注意ください。

●保証書は大切にしましょう！

保証書は弊社がエレクトーンをご購入いただいたお客様に、ご購入の日から向う1カ年間の無償サービスをお約束申しあげるのですが、万一紛失なさいますと保証期間中であっても実費を頂戴させていただくことになります。

万一の場合に備えて、いつでもご提示いただけますように充分ご配慮の上で保管してください。

また、保証期間が切れましてもお捨てにならないでください。後々のサービスに際しての機種の判別やサービス依頼店の確認など便利にご利用いただけます。



●納入調整サービス

エレクトーンをお納めさせて頂きまして、販売店からエレクトーンのご説明かたがたお納めしたエレクトーンの調子を最良状態にするよう点検調整にお伺い致します。お求めのエレクトーンについてご不明の点およびお聞きになりたい点がございましたらその節にお願い申しあげます。

●アフターサービス

1：保証期間中に万一故障が発生した場合にはヤマハ特約楽器店、小売楽器店にご連絡いただきますと販売店またはヤマハのエレクトーン技術者が直ちに調整修理にお伺いします。

2：調整いたしました時には、必ず保証書をご提示ください。ご提示なき場合、あるいは紛失なされた場合には保証期間中でも有料になります。

3：この保証書は、サービスにお伺いした時に今後の製品改良の貴重な資料とするため技術者がお預りさせていただきます。お預りした保証書は、弊社支店に送られ、記録した後に各支店から直接お客様にご返送申しあげます。この間、約1週間～10日間程度を要しますがご心配なくお待ちくださいようお願い申しあげます。

4：お買上げ楽器店より遠方に移転される場合は、事前にお買上げ楽器店あるいは弊社支店にご連絡ください。移転先におけるサービス担当者をご紹介申しあげますと同時に、引き続き保証期間中のサービスを責任をもって行なうよう手続きいたします。

●保証期間後のサービス

満1ヶ年の保障期間が切れますとサービスは有料となります。いつまでも責任をもってサービスをさせていただきます。保証期間以後の移転の場合も保証期間中と同様にご連絡いただきましたら、移転先の楽器店をご紹介いたします。

●こんなサービスの依頼をなさるとお得です

●サービスをご依頼なさる前に

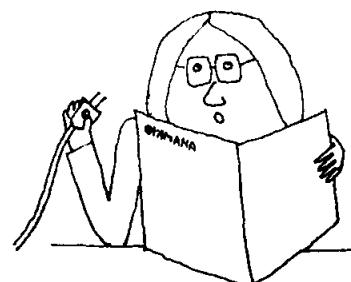
毎日使用していた電気器具が、ある日突然動かなくなり、あわててサービス技術者に来てもらったところ、電源コンセントから電源コードが外れていたなどという笑い話の如きの本當のはなしは少なくありません。

サービス技術者をお呼びになる前には、もう一度しっかり確認をしましょう。

1：必ずコンセントに電気が来ているかどうか、電気製品を接続してお確かめください。

2：この手引書の15頁にございます「こんな場合は故障ではありません」の項をもう一度ご覧ください。

3：ご依頼いただきましたサービスにお伺いした際、故障でないような場合でも、点検代と出張経費を頂戴させていただきます。



●お名前、お住まいはハッキリと

1：サービスをご依頼くださる時、お名前、お住まいをハッキリとお知らせください。

特に、アパートおよび他の方と同居なさっている方などは、アパートの名前や〇〇方などの方書きまで詳しくお教えください。また、お訪ねする際の目標物もあわせてお知らせ願います。技術者ができるだけ早くお伺いするために大切です。

エレクトーンBK-5の仕様

■鍵盤

上鍵盤：44鍵 3%オクターブ(F₂～C₆)
下鍵盤：44鍵 3%オクターブ(F₁～C₅)
ペダル鍵盤：13鍵 1オクターブ(C₂～C₄)

■トーンレバー

上鍵盤⑥：フルート16'、トロンボーン16'
オーボエ8'、ストリング8'
下鍵盤③：ウッド8'、ホルン8'、チェロ8'
ペダル鍵盤②：バス16'、ベースギター

■エフェクトレバー

全鍵盤：ピブラート
上鍵盤：バーカッショップ(4.レングス)

下鍵盤・ペダル鍵盤：オート・ベース/コード

■コントロールレバー及びツマミ

リバーブ、リバーブバランス
ペダルサステイン

■トレモロタブレット

ボイス、トレモロ、コーラス
トレモロスピードコントロール(ボリューム)

■オートリズム

●リズムセレクター(8リズム)
マーチ、ワルツ、スイング、スローロック
ジャズロック、ルンバ、ボサノバ、サンバ
●リズムコントロール
リズムスタート、シンクロスタート、リズムトップ、テンポコントロール、ボリュームコントロール、バランスコントロール
テンポインジケーターランプ

■オート・ベース/コード

ベースバリエーション
1・5、1・3・5、1・7・5(スローロック、
ルンバ、サンバに効く)

■その他

パワースイッチ
エクスプレッションペダル(フットスイッチ)
ヘッドホーンジャック
エクスタークナルインプットジャック

■半導体

トランジスター：シート234個、メインアンプ10個
FET電界効果トランジスター：シート4個
集積回路：シート9個
シート1個
ダイオード：シート565個、メインアンプ9個

■メインアンプ

準コンプリ：15W(8Ω)
■スピーカー

メインスピーカー
トレモロスピーカー

■トレモロモーター

単相4極コンデンサ起動イングリッシュモーター

■消費電力

AC100V 50/60Hz 80W

■外装

本体仕上：ジアレルフターレット
(アメリカンウォールナット)

開口：1108mm
奥行：557mm
高さ：897.5mm(譜面台を含む1073.5mm)
重量：56kg

椅子仕上：モルバイス DC01160

●サービスのお約束について

1：お仕事の関係で、昼間ご不在のお客さまや留守勝ちのお客さまは、できるだけお伺いする日時を事前にお約束させていただきたく存じます。

2：万一、お約束した日時がご都合の悪い時には、できるだけ早くサービスをご依頼されたお店にご連絡ください。出張料の二重負担が防止できます。

3：お店にサービス依頼をされたにもかかわらず、日時が経過してもなおサービス員がお伺いしない場合は、お手数でも最寄りの下記にご連絡ください。責任をもって処理させていただきます。

●ヤマハのサービス網

■東京支店 東京都中央区銀座7-9-18パールビル内・技術課エレクトーン技術係 ☎(03) 572-3111

■大阪支店 大阪府吹田市新芦屋下1-16・技術課エレクトーン技術課 ☎(06) 877-5151

■名古屋支店 名古屋市中区錦1丁目18-28・技術課エレクトーン技術係 ☎(052) 201-5141

■九州支店 福岡市博多区駅前2-11-4・技術課エレクトーン技術 ☎(092) 43-2151

■北海道支店 札幌市中央区南三条西4-12 エイトビル内・技術課エレクトーン技術係 ☎(011) 281-6111

■仙台支店 仙台市1番町2-6-5・技術課エレクトーン技術係 ☎(0222) 27-8511

■広島支店 広島市紙屋町1-1-18・技術課エレクトーン技術係 ☎(0822) 48-4511

■浜松支店 浜松市鍛冶町122
技術課エレクトーン技術係 ☎(0534) 54-4111

■本社 浜松市中沢町10番1号
電音サービス課エレクトーン係 ☎(0534) 61-1111

2：サービスをご依頼くださる時、お店からお客様にご連絡をさしあげることもございますので、"連絡方法"もお知らせください。

例えば電話番号(呼出含む)、お勧め先の電話番号などです。これはエレクトーンの様子について、いま少しお聞きしたい時や、万一突発事故によりお約束の変更をしなければならない時など、お客様にご迷惑をおかけしないでみます。

●エレクトーンの様子は詳しく

1：サービスをご依頼くださる時、エレクトーンの様子をできるだけ詳しくお知らせください。できれば、実際にエレクトーンをお弾きになっていらっしゃる方にお聞かせ願えれば、あらかじめ用意する部品などの見当がつき、部品などの為に再度訪問するなどのご迷惑をおかけすることがなくなります。
2：時々調子のおかしくなるような場合には、お手数でもその状態ができるだけ詳しくお知らせください。

例えば①夜だけ音が小さい。②ある時間だけ雑音が出る。③エレクトーンの音を出さなくとも、スイッチを入れるだけで雑音ができる。④スイッチを入れて10分位、ドの音程が狂う。などお知らせいただければ、技術者がお伺いしたときに正常で調整不能な場合や誤診をすることもなく、早く確実にサービスができます。

3：エレクトーンの種類、製造番号など、サービスご依頼のエレクトーンに関する詳細は保証書をご覧になりながらお知らせください。

例えば、エレクトーンの機種名、製造番号、保証期間などです。使用部品が製造時期や機種により異なる事もありますので、お手持のエレクトーンについて詳細をお聞かせいただくと早く確実にサービスさせていただけます。

■やさしい音楽教室

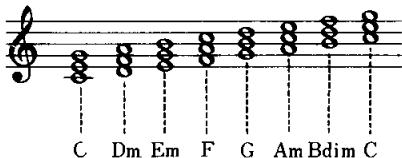
●和音のことを少しおぼえましょう

A

高さの違った3個以上の音が、同時に響く場合に和音といいます。和音には、にぎった響きのするものや、澄んだ響きのするものなどいろいろあります。そのうちで最もよく音楽に使われる基本的なものが三和音です。三和音は3度の音程を2つ積み重ねることができます。

B

例としてハ調長音階上に三和音を構成してみましょう。



C

この中でもCとFとGの和音は、音楽の中で最も多く使われますから、これを主要三和音と呼びます。他の4つは副三和音と呼びます。

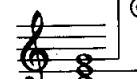
D

Cの和音でみてみましょう

◎ソの音を5度(第5音)と呼びます

◎ミの音を3度(第3音)と呼びます

●ドの音を1度(根音)と呼びます



●ドを1度とすればミはドから3つ目ソは5つ目になるわけです

E

Dmの和音でも同じです。

一番下の レを1度(根音)

ファを3度(第3音)

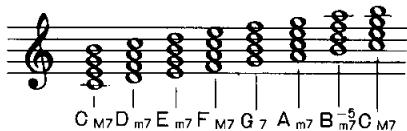
ラを5度(第5音)

とよびます。以上でおわかりのように和音を構成する一番下の音を1度(根音)とよびます。ただし、和音が転回した場合でも、この呼び方はかわりません。

エレクトーンではしばしば和音を転回して使いますが、オートベースはいつも第1度(根音)から出発します。

I

セブンスコードは3和音の上に3度音程の音をもひとつ加えるとできます。次にハ調3和音の上に3度音程を加えセブンスをつくってみましょう。特に5度(ソの音)のセブンスは属七といわれハ長調では大変重要な働きをします。



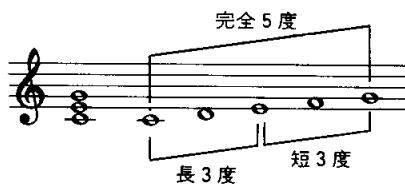
F

それではコードネームが表わす意味をまとめてみましょう

C ……C音を根音として作られた長3和音(メジャーコード)
Dm ……D音を根音として作られた短3和音(マイナーコード)
Em ……E音を根音として作られた短3和音(マイナーコード)
F ……F音を根音として作られた長3和音(メジャーコード)
G ……G音を根音として作られた長3和音(メジャーコード)
Am ……A音を根音として作られた短3和音(マイナーコード)
Bdim ……B音を根音として作られた減3和音(ディミニッシュコード)

G

長3和音の音程をみてみましょう

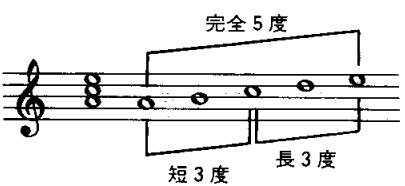


明るく安定した響きをもつ和音
メジャーコード



H

短3和音の音程をみてみましょう



長3和音の明るさにくらべてすこし暗い響きをもつ——マイナーコード

■表現の世界をさらに広くするために
表紙裏面（折返し頁）の全体写真と合わせてご覧ください。

⑩上鍵盤

44鍵 3½オクターブ(F₂-G₄)

⑪下鍵盤

44鍵 3½オクターブ(F₁-C₄)

●マニュアルキー(手鍵盤)の弾き方
美しくエレクトーンを弾くためには、正しい指使いをしなければなりません。

普通の手の形は、一度にぎった手を軽くひろげ指を立てた状態になります。この形は指は早く動かすためにも必要で、あらゆる有鍵楽器に共通の模範的な形です。

エレクトーンはピアノと違い指を離した瞬間に音が切れてしまいます。ですからレガートを弾くときなどは次に弾く音の上に指を用意する必要があるのです。

- 原則として2度は隣の指で
- 5度以内は5指を有効に
- 5度以上の順次進行は音階の指使いで

4. 指の拡大はなるべく1-2、
1-4、1-5の指の間で

5. 黒鍵はなるべく長い指で
(2・3・4指)

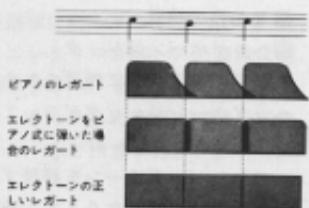
もちろん曲により例外もたくさんあります、一口に言えば合理的な指使いが必要なわけです。

●レガートについて

ピアノの場合、キーをたたくとそのキーが下がりきったあたりでハンマーが弦をたたきます。つまり弾く動作よりある程度遅れて音がでているのです。

ところがエレクトーンではキーをほんの少し押しただけで音がでます。そしてキーを離す瞬間まで同じ強さの音が続いています。

ですから、エレクトーンをピアノ式のレガートで弾くと音の前後が重なって汚い音になります。ピアノとは違うタッチで正しいレガートが弾けるように練習してください。



- スラー(—)についているフレーズや何も書いてない場合(メロディ・パート)は原則としてレガートに弾きます。
- 初めから終りまで全部レガートに弾いてはかえってその効果が少なくなります。フレーズの切れ目でちょっとブレス(息つき)が必要です。
- 鍵盤が軽いからといって軽くキーを押されるとかえってレガートになりにくくなります。形を正しくしっかりと弾きましょう。
- 指使いが難しくレガートになりにくい所や早いメッセージ等で指がうまく動かない時は半音上げるか半音下げるか、移調して練習すると効果があります。
- 重音のレガートはしばしば指変えが必要です。重音のパートをとり出して練習しましょう。
- 自分ではレガートに弾けているつもりでも実際は音が切れていることがあります。レガートには特に注意しましょう。

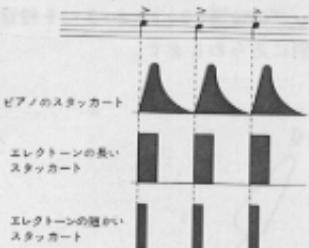
●スタッカートについて

スタッカートもまたピアノとは違います。ピアノでは普通キーを打ち逃げるので音は一音だけであとは固有の減衰をします。

ところがエレクトーンではキーを押している時間によって音の長さが変えられます。つまり、いろいろな程度のスタッカートが使われられるのです。

- 左手のリズム伴奏の時は特に指定のない場合でもスタッカートで表わします。一般的にリズミカルな感じの曲では短めに、またゆっくりした曲では長めの方が効果があります。

実際にはいろいろな長さで演奏してみてメロディ・パートに合う長さで演奏しましょう。



ペダル鍵盤

13鍵 1オクターブ(C₀-C₄)

●ペダル鍵盤の奏法

- 座る位置をいつも同じにしましょう。1オクターブ以上キーがある時に体の中心の音よりも4度Fの音(すなわちFに座るとC)左足の真下の音となります。しかし、体の大小により多少異なりますが足鍵盤がオクターブですのでCかdの所に体の中心を持ってきますと左足はGかAの所にくるはずです。
- ひざから下は、ひざを中心に時計の指のようらくに動くのが上手な弾き方です。
- 演奏は足首でします。ひざを上下すると足が疲れやすく速いテンポの曲の演奏が困難になります。踏む位置は白鍵の真中より少し奥を踏み足の指のつけ根が白鍵の真中になるようにします。

- 演奏中足鍵盤を見ますと姿勢がくずれ、ひざを開いてのぞき込むと足に不自然な力が入ります。いずれもよくない弾き方です。

- 練習を始める前のペダル鍵盤だけのリズム練習、音階練習はペダル鍵盤の上達に大変有効です。

●ペダル奏法のご注意

- 座る位置が前過ぎ、ひざが前に出たりその逆になったりしがちです。
- Gより上の音(A・B・C・)を強く時にかかとが内に入り、ひざが外側を向くことがよくあ

ります。

- 下のC(c)を弾く時に、ひざが内側を向き下脚に不自然な力が入りやすいものです。
- 短く切る時(スタッカート)は必要以上にツマ先が上がらないようにしてください。
- ひざが上下するのは足首に力が入っているためです。もっと楽な気持で弾きましょう。
- たたきつけるような演奏となる(足全体に力が入る)のもまだ足の動かし方が不自然だからです。

- 恐る恐る演奏すると、かえって音程がとりにくくなります。
- 練習時にはペダル鍵盤の音量を少し大きめにしましょう。

エクスプレッションペダル
音の強弱、つまり音楽の表情は右足のエクスプレッションペダルによってつけます。

クリッショードのときは、ごくゆっくり静かに踏みこみます。ディミヌエンドのときは、ゆっくりと戻します。しかし、このペダルはあまり使いすぎていません。

エクスプレッションは、音楽の自然な流れにそって、わざとらしくない程度につけましょう。

●曲全体のエクスプレッション

- 楽曲はいくつかのフレーズが集まって一曲を構成しています。ですから曲全体にfのフレーズは強めに、pのフレーズは弱めに、つまり全体のバランスを大切にしましょう。
- 波をうつような不自然な音は右足の操作がスムーズでないことが原因です。聞いていて自然な感じの美しい音楽を創りましょう。

●フレーズのエクスプレッション

- 自然な音楽を創るためにフレーズの入りは弱めに、またフレーズの終りも少し弱めにすると美しく聞こえます。
- フレーズのエクスプレッションは急激な操作ではなく少しゆっくり操作します。
- メロディ・パートは歌うよう

な軽やかな表情をつけます。
(メロディをよく聞きながら表情をつけます。)

4. クレッセンドの時は少しづつ操作しやすいのですが、デイミヌエンドの時に早くなりやすいので気をつけましょう。

●アクセントについて

1. 急激に踏み込み、そして戻すとアクセントになります。
2. いつもアクセントをつけると全体の感じはアクセントになります。
3. 戻す音は、素早く操作します。
4. 初めはアクセントをつけず、フレーズのエクスプレッションが十分身についてから操作するようにしましょう。

●エクスプレッションペダルのご注意

1. クレッセンドの時、強拍のところが一番強いのが自然です。
2. 曲全体の表情は初めのうちは意識的につけて、なれてきたら無意識に自然な表情がつけるようにしてください。
3. リズミカルな曲は小さなアクセントがあつてもよい感じのものになります。

■記譜法について

●エレクトーンの記譜法

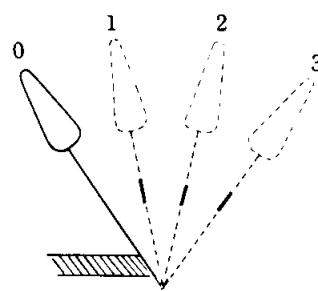
エレクトーンの譜面は普通3段になっています。この場合、特に指定のない限り上段は上鍵盤、中段は下鍵盤、下段はペダル鍵盤でそれぞれ右手、左手、左足で演奏します。

小節線は中段と下段の間には引きません。



●トーンレバーの指定

トーンレバーの指定は使用する音色と前に図示したクリックストップの位置(0・1・2・3)を鍵盤別にあらわします。



U.M. FLUTE	16'.....
"	8'.....3
"	4'.....2
TROMBONE	16'.....
OBOE	8'.....2
STRING	8'.....
L.M. WOOD	8'.....3
HORN	8'.....2
CELLO	8'.....
Peb BASS	16'.....
BASS GUITAR

●エフェクトレバーの指定

エフェクトレバーにはビブラート(略号Vib), パーカッシブ4'(Per.4')パーカッシブレンジス(Per.L)ペダルサステイン(P.S.)があります。

以上のレバーは略号を用い、クリックストップの位置(0・1・2・3)で記されます。

ただし、ビブラートは使用されないときでもVib.Oと記します。

●バランサーの指定

リバーブ (略号 R.)

リバーブバランス (略号R.B.) は略号と矢印を用いて記入します。

R.

R.B.

●その他の機能

⑦ヘッドホーンジャック

鍵盤の右手下側に練習のためのヘッドホーンジャックがついています。

これにヘッドホーンを接続すれば音は外に出なくなります。夜でもひとり静かに心ゆくまで練習ができます。

⑧エキスターナルジャック

(EXT-IN) 外部入力端子

エクストーンの棚板右下に、ヘッドホーンジャックとならんでエキスターナルジャックがついています。エキスターナルジャックを利用し、レコードやテープの曲をエクストーンから出し、これに合わせて競演を楽しむことができます。また、先生の録音テープに合わせて運指練習もできますので、お部屋にいながら個人レッスンが受けられるわけです。

エクストーン専用のカセットデッキをご使用になる場合は、この端子1個で録音及び再生が可能となりエクストーンの楽しさが更にひろがります。

●再生及び録音時のご注意

接続して使用するテープレコーダーやプレイヤーなどの種類により、再生音量に差があります。

テープやレコードと同時演奏される場合、入力オーバーで音が歪むことがあります。このような時には各々のボリュームを絞り、歪まないようにしてお使いください。

ピンプラグは弊社支店、または販売店でお求めください。

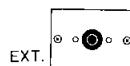
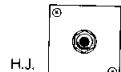
うまく録音再生できない場合はお買上げ頂いたお店にご相談ください。

●棚板のACコンセントはエクストーン用カセットデッキ専用です

棚板右下のヘッドホーンジャックの奥にあります。

パワースイッチに連動してON、OFFができる電源コンセントで、エクストーン用カセットデッキ(別売品)を接続する際に使います。※アイロンや電気コタツ等の電源

コードは絶対に差し込まないでください。(許容電力20W) 万一差し込みますとエクストーン内部のヒューズが飛び故障の原因となります。



(右側棚板下の図)

■ヒューズ交換のご注意

●ヒューズ交換

通常の場合、ヒューズの切れることはありません。しかし内部の故障や電源の異状ショック、または長い間使用してヒューズが弱ってきた場合などに切れることがあります。

万一切れた場合には、内部メインアンプ部分の手前側板にサービスヒューズが2本用意してありますのでお取り換えいただくことができます。天屋根を外しますと右側にアンプがあります。

ヒューズを交換してもすぐ切れようでしたら内部が故障していると考えられますのでアンプの内部には手を触れず、お求めの楽器店にご通知ください。エクストーン技術者が直接お伺いします。

●ヒューズ交換の際のご注意

メインアンプには2本の普通ヒューズが使われています。これらの容量はそれぞれ2.0A及び1.5Aのガラス管入りヒューズです。

ヒューズの交換には必ず同じ電流容量のものを用いてください。ヒューズを使わず、針金や銅線などの代用は絶対にしないでください。万一使用しますと内部を損傷しますからくれぐれもご注意ください。

交換する時は必ず電源コンセントを抜いて2本のうち、どのヒューズが切れたかを確認して交換してください。

●誰れでも簡単に調律できます

●エレクトーンの調整法

エレクトーンBK-5は、ビブラートの速さをあらかじめ標準状態に調整してありますが、お弾きになる方の好みに合わせて調整いただけるようになっています。

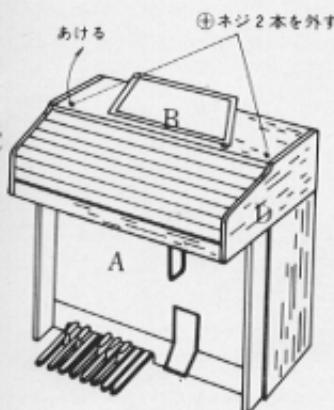
また、他の楽器とピッチを合わせる必要が生じた場合など、エレクトーンの技術者でなくても必要に応じて簡単に調律できるよう配慮してあります。

トランジスタ回路になっていますから電圧が低く、感電の心配はまったくありません。

●調律および調整個所は内部に

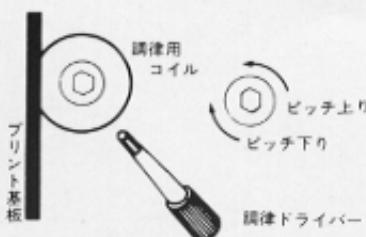
調整のため、エレクトーンを開ける場合は、ドライバーで図示の通り天板根部分の④ネジ2本を外し、スライド蓋を外装にキズをつけないように静かに取り外せば、心臓部があらわれます。

スライド蓋を持つときは、図のようにA B点を持ちC D点は持たないでください。



●調律は特殊ドライバーで

エレクトーンBK-5の調律は特殊ドライバーを使用いたしますので、あらかじめ下記へ調律用ドライバーをご請求ください。



〒430-19

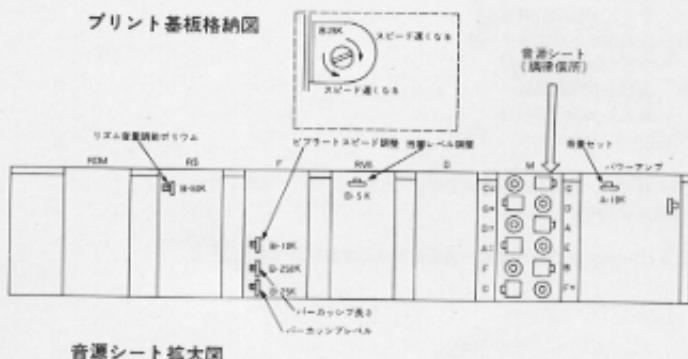
静岡県浜松市中沢町10-1

日本楽器製造株式会社

ヤマハエレクトーンご愛用者係宛

●ビブラートスピード調整

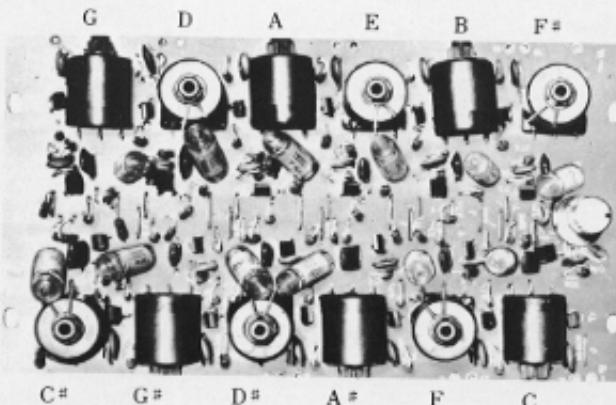
プリント基板格納図のFシート内にあり、右回転で速くなり、左に回転すると遅くなります。



●調律は聞きわけやすい音色で

調律は聞きわけやすい音色（例えば上鍵盤フルートBなどの純粋な音）で、中央の1オクターブを使って行ってください。1オクターブを合わせるだけで、上から下まで全部調律されます。ネジの回転方向は左回転でピッチが上がり、右回転で下がります。

普通の場合、半回転以内で5ヘルツ程度変化しますので、過しそうなようご注意ください。





日本楽器製造株式会社

本社・工場 = 〒430-19

浜松市中沢町10-1

TEL 0534(61)1111

東京支店 = 〒104 東京都中央区銀座7-9-18／パールビル内

TEL 03(572) 3111

銀座店 = 〒104 東京都中央区銀座7-9-14

TEL 03(572) 3111

渋谷店 = 〒150 東京都渋谷区道玄坂2-10-7

TEL 03(463) 4221

池袋店 = 〒171 東京都豊島区南池袋1-24-2

TEL 03(981) 5271

横浜店 = 〒220 横浜市西区南幸2-15-13

TEL 045(311)1201

相鉄店 = 〒220 横浜市西区南幸1-6-31／高島屋B1

TEL 045(311)6361

千葉店 = 〒280 千葉市中央4-2-1／まつだやビル内

TEL 0472(24)6111

大阪支店 = 〒564 吹田市新芦屋下1-16

TEL 06(877) 5151

心斎橋店 = 〒542 大阪市南区心斎橋2-39

TEL 06(211) 8331

梅田店 = 〒530 大阪市北区梅田1／阪神百貨店5階

TEL 06(345) 4731

神戸店 = 〒650 神戸市生田区元町通り2-188

TEL 078(321)1191

四国店 = 〒760 高松市丸亀町8-7

TEL 0878(51)7777

名古屋支店 = 〒460 名古屋市中区錦1-18-28

TEL 052(201)5141

九州支店 = 〒812 福岡市博多区駅前2-11-4

TEL 092(43) 2151

福岡店 = 〒810 福岡市天神1-11／福岡ビル内

TEL 092(76) 1061

小倉店 = 〒803 北九州市小倉区魚町1-1-1

TEL 093(531) 4331

北海道支店 = 〒060 札幌市中央区南三条西4-12／エイトビル内

TEL 011(281) 6111

札幌店 = 〒060 札幌市中央区南四条東5-12／豊ビル内

TEL 011(281) 6111

仙台支店 = 980 仙台市1番町2-6-5

TEL 0222(27)8511

広島支店 = 〒730 広島市紙屋町1-1-18

TEL 0822(48)4511

浜松支店 = 〒430 浜松市鍛冶町122

TEL 0534(54)4111

海外支店 = ロスアンゼルス・メキシコ・ハングル・シンガポール・フィリピン

●上記の本社・支店のほかに、全国1400の特約楽器店によるサービス・ネットワークがございます。お気軽にご利用ください。

エレクトーン®(ELECTONE®)は日本楽器製造株式会社の登録商標です。